

R6「全国学力・学習状況調査」 本校の結果から

3年生を対象に5月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を基に、成果と課題を踏まえて、分析しました。

秋田県は国語が全国3位、数学が13位でした。本校は、残念ながら国語・数学とも全県及び全国平均正答率を下回る結果でした。国語では、知識及び技能の「我が国の言語文化」で、全県・全国平均を上回り、思考力・判断力・表現力等の「読むこと」では下回りました。数学では、「関数」領域で全県・全国平均を上回り、「数と式」「図形」「データの活用」の3領域では下回りました。

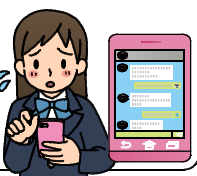
また、質問紙調査では、次のような結果となりました。

【良好な結果であった質問項目】

- 自分にはよいところがある
- 先生はあなたのよいところを認めてくれている
- 人の役に立つ人間になりたい
- 人が困っているときに進んで助ける
- 将来の夢や目標をもっている
- 学校に行くのが楽しい
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う
- 地域や社会をよくするために何かしたい

【課題として受け止めたい質問項目】

- 携帯・スマホの使用時間
- 携帯・スマホの使い方の約束を守る
- 家庭学習の時間
- 新聞を読む機会



<生活習慣について>

朝食の摂取や起床・就寝時刻は、全県水準と大きな差はありません。

一方で、携帯・スマホの使い方が大きな課題となっています。特に、SNSや動画の視聴時間が平日で3時間以上という生徒が10人、そのうち、半数の5名は4時間以上という状況で、全県・全国の2倍です。

また、家の人と決めた使い方についての約束が守られていない生徒の割合が全国や県よりも20%高い状況です。更には、家の人との約束そのものがないという生徒は全体の1/3を占めています。

<家庭学習の習慣について>

これも大きな課題です。平日に2時間以上勉強している生徒はわずかに2名しかおらず、休日も3時間以上勉強している生徒はいない状況です。

ここまでの2つは、学校評価保護者アンケートの結果とも一致しています。

<自分自身について>

全国的には、自己有用感が低いことは大きな課題とされますが、本校では、「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれている」などの数値が全県・全国を大きく上回る結果でした。また、「将来の夢や目標をもっている」は、全県より20%高い結果でした。本校が目指す「自律」への取組の成果と言えます。また、規範意識に関する項目では、「人が困っているときに進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけない」などで全県・全国大きく上回っています。生徒同士の人間関係が良好で、自分と違う意見を受け入れる気持ちも高く、学校生活の充実ぶりがうかがえます。このことは学校生活での「共生」へ意識の高まりの成果と捉えています。

<学習への関心等について>

どの教科の質問項目でも肯定的な回答をした生徒が多く、全県よりも優れた結果でした。国語では、「学習したことが将来社会に出たときに役に立つ」という回答が極めて高かったです。数学では、「授業の内容がよく分かる」という回答が全国より20%上回っています。理科では、「理科に関する疑問をもったり、問題を見いだしたりする」「自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」などが全県平均よりも20%以上高い結果でした。更に、英語では「スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた」「自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた」という項目で肯定的な回答が8割を超えています。今回特筆すべきことは、ICTを活用した授業がほぼ毎日行われており、どの質問項目についても高評価であったことです。

中でも、「分からないことがあったときに、すぐ調べることができる」「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」の割合がとても高い結果でした。このことは、学級での話し合い活動でも、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることにつながっていると考えています。今後も生徒同士の意見交換や発表場面での使用など、多様な活用を図り、生徒の期待に応えるように工夫していきたいと考えています。

<地域社会への興味・関心について>

「地域や社会をよくするために何かをしたい」という質問項目で、全県・全国に比べ高評価でした。この結果は、本校が継続している地域貢献活動「チャレンジ55+」の取組が奏功していることが要因と思われます。ただ、新聞を読む習慣については、かなり憂慮される結果でした。「新聞を毎日読んでいる」生徒は一人もおらず、週に数回読むという生徒もわずか2名にとどまっています。

この全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、今後も引き続き、自分や友達のよさを認め、自分の将来の夢や目標に向け、挑戦意欲や向上心を高めていける生徒を育てよう努力していきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

